

## 鳥獣保護管理強化事業費

(希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)による農林水産業等への被害対策事業を含む)  
285百万円(285百万円)

### 自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

#### 1. 事業の概要

近年、シカ、イノシシ等の鳥獣が急激に生息数を増やし、生息地を拡大している。その食害による希少植物の減少や森林の劣化などの生態系被害の拡大や農林水産業の被害額の増加に加え、最近では住宅地や観光地への出没による人身被害や電車や車との衝突など生活環境の被害も増加しており、各地で深刻な問題となっている。

このため、鳥獣保護管理の新たな担い手の確保、地域ぐるみでの捕獲の取組、新たな捕獲手法や体制の整備・再構築などについて抜本的に取組を強化する。

また、近年、希少種であることから有害鳥獣捕獲ができないゼニガタアザラシによる漁業被害が深刻化しており、このため、ゼニガタアザラシの絶滅を回避しつつ、地域社会と共存するための漁業被害対策事業を実施する。

#### 2. 事業計画

##### (1) 鳥獣保護管理に係る人材育成

新たな担い手確保のための狩猟免許取得に向けたセミナーや、地域ぐるみでの捕獲数を増やすノウハウの講習会、狩猟者の捕獲技術を向上させる研修会等を全国で開催。また、捕獲の専門家や動物の生態の有識者によるサポート体制の整備を図る。

##### (2) 地域ぐるみでの捕獲推進モデル地域づくり

全国12地域のモデル地域における地域ぐるみでの捕獲を推進する先進地づくり、捕獲推進に伴って発生する錯誤捕獲対策、シカ等を大量に捕獲できる高度な射撃技術等の開発・実証を行う。

##### (3) 鳥獣保護管理実態調査・検討

深刻な被害が生じているシカ、イノシシ等の鳥獣について、最新の知見等を収集・整理するとともに、必要な実態調査等を行う。また、広域に生息する鳥獣への対策を講じるための体制づくりを推進する。

また、ゼニガタアザラシについては、環境省ゼニガタアザラシ保護管理計画に基づいて、地域の関係者や専門家と連携しつつ、漁業被害軽減のための被害防除手法の開発・実証、個体数調査や生態調査の実施、調査結果に基づく個体群動態予測等を実施する。

#### 3. 施策の効果

シカやイノシシ等の保護管理に係る担い手の確保や先進地づくり等の総合的実施を通じて、生態系被害や農業被害を抑える。

絶滅危惧種であるゼニガタアザラシの保全をしながら、生息地周辺における漁業被害の軽減が図られる。

# 鳥獣保護管理強化対策【285百万円(285百万円)】

※支出先:民間業者等

【  
背  
景  
】

増えすぎたシカ等による生態系や農林水産業の被害の深刻化

希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)の集中による漁業被害の深刻化

クマの市街地への出没やイノシシと車の衝突など生活環境被害の増加

人の生活圏や農地等における取組との連携不足

狩猟者の減少や担い手の不足

模範となる事例や技術の不足

↓

深刻な鳥獣被害に適切に対応するには、総合的な鳥獣保護管理を抜本的に強化することが必要

## 鳥獣保護管理強化対策

### 人材育成 【67百万円】

- ・狩猟免許の取得に向けたセミナーを全国で開催し、新たな担い手の確保を強力に推進
- ・地域ぐるみでの捕獲数を増やすノウハウの講習会を全国で開催し、集落単位の自衛力を強化
- ・捕獲の専門家や動物の生態の有識者等によるサポート体制の整備 等

### モデル事業 【60百万円】

- ・地域ぐるみでの捕獲を推進するため、全国12地域に設定したモデル地域において、先進地域づくりを強力に推進
- ・地域ぐるみでの捕獲推進に伴って発生する錯誤捕獲への対策として、クマの安全な放獣技術の開発やマニュアルの作成
- ・シカ等を大量に捕獲できる高度な射撃技術の開発・実証

### 実態調査・検討 【158百万円】

- ・深刻な被害が生じている特定鳥獣について、検討会を設置し、最新の知見等を収集・整理
- ・広域に活動する鳥獣への対策を講じるための体制づくり
- ・シカ、イノシシ等について、全国における分布域、個体数及び変動状況の把握・推計等
- ・希少鳥獣(ゼニガタアザラシ)による漁業被害軽減のための被害防除手法の開発・実証、個体群動態予測等(新規・重点)